

新聞オーディエンス調査

365

新聞オーディエンス調査365は、新聞、テレビ、インターネットの3つのメディアに普段と比べてよく接したかどうかを毎日尋ね、どのタイミングで接触が高まったかを2年間調べました。調査結果から見えてきた傾向を、トピック別に紹介します。

調査概要

- 地域 = 全国
- 対象 = 18歳から69歳までの月1回以上新聞を読んでいる男女300人
- 期間 = 2017年10月1日から19年9月30日まで
- 調査内容 = 新聞、テレビ（いずれもインターネット経由で見聞きした場合も含む）、インターネットについて、普段と比べてどの程度接したかを7段階で毎日尋ねた。
- 調査手法 = インターネット
- 調査主体 = 日本新聞協会広告委員会
- 実査 = 株式会社日本リサーチセンター

男女で異なる興味を持つニュース



男性	順位	女性
<p>新天皇陛下即位。元号が平成から令和へ。</p> <p>110.2 2019/5/1</p>	1	<p>新天皇陛下即位。元号が平成から令和へ。</p> <p>109.7 2019/5/1</p>
<p>前の天皇陛下が退位。平成最後の日。</p> <p>108.0 2019/4/30</p>	2	<p>新元号発表の翌日。</p> <p>109.4 2019/4/2</p>
<p>フィギュアスケート紀平梨花、 GPデビューシーズンでファイナル制覇。</p> <p>107.7 2018/12/9</p>	3	<p>川崎市で発生した通り魔による殺傷事件の翌日。</p> <p>105.4 2019/5/29</p>
<p>ラグビーW杯、日本 対 アイルランド戦の翌日。</p> <p>107.5 2019/9/29</p>	4	<p>新元号発表。</p> <p>104.7 2019/4/1</p>
<p>元旦。</p> <p>107.1 2019/1/1</p>	5	<p>台風24号被害、前日に沖縄県知事選挙投開票。</p> <p>104.1 2018/10/1</p>

傾向

- 男性の方が女性に比べ、新聞への接触が高まった日が多いとの結果になりました。
- 男女では、興味を持つニュースの対象が異なっています。
男性は、ラグビーなど大きなスポーツニュースがあった日に新聞への接触が高まりました。
- 対して女性は、台風などの災害や人命にかかわる大きな事件、事故の報道があったとき、新聞への接触が高まりました。

若者は同世代が活躍のニュースに高い関心

衆院選投票開票日 (2017.10.22)



年齢	日付	10/22	10/23
18~29		111.8	114.9
30~39		105.8	108.5
40~49		101.2	99.0
50~59		101.6	108.8
60~69		105.4	112.0

羽生結弦が 連続金メダル 藤井聡太が 羽生善治竜王 に勝利 (2018.2.18)



年齢	日付	2/17	2/18	2/19
18~29		106.1	108.7	107.0
30~39		101.8	102.3	103.9
40~49		99.3	95.7	101.1
50~59		97.5	96.4	97.7
60~69		102.2	101.0	103.2

紀平梨花 グランプリ ファイナルで 優勝 (2018.12.9)



年齢	日付	12/9
18~29		109.0
30~39		106.5
40~49		99.8
50~59		95.5
60~69		103.9

傾向

- 10~20代の若い世代は、休日に新聞への接触が高まります。
- これらの若い世代は、フィギュアスケートの紀平梨花選手や将棋の藤井聡太七段など、同世代が活躍する報道があったときにも接触が高まりました。
- 2017年10月の衆議院選挙の投票開票日には、18~29歳の若い世代で特に新聞への接触が高まりました。若者の低投票率が問題となっていますが、少なくとも新聞に触れている若い世代は、政治に高い関心を持っているようです。

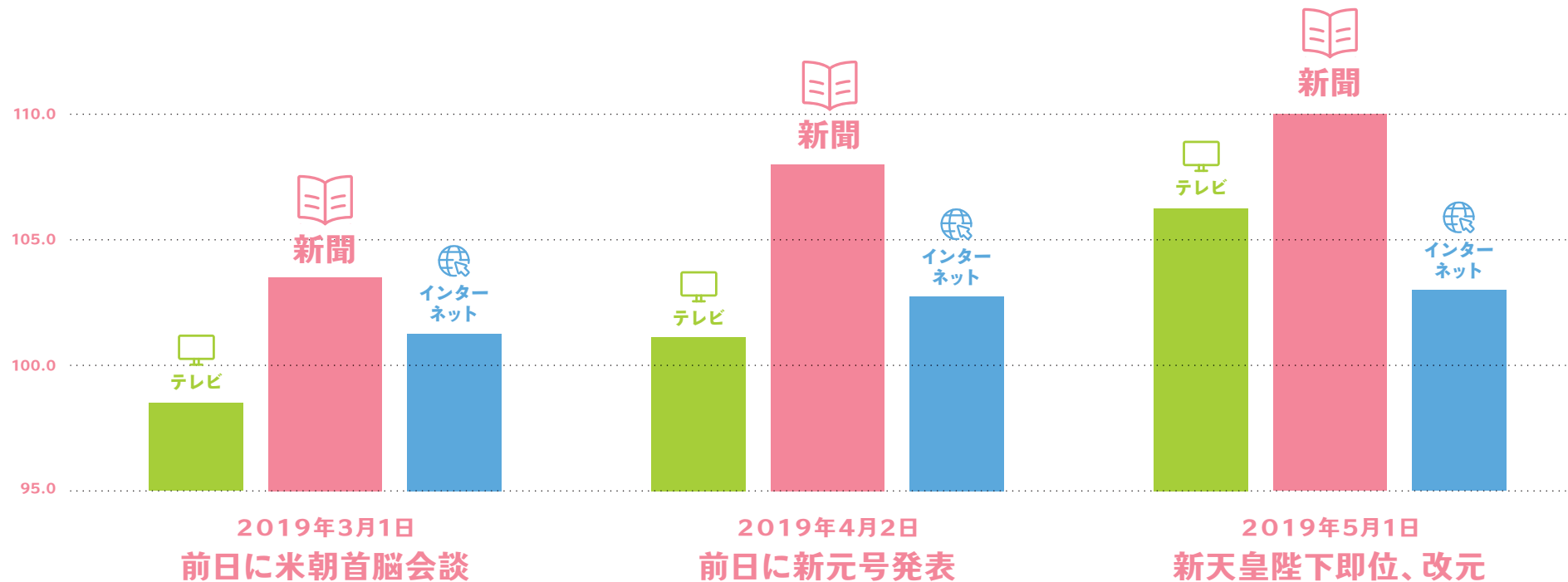
若者層も休日はゆっくりと新聞を



傾向

- 土曜日、日曜日、祝日などの休日は、新聞への接触が高まります。
- 年末年始やゴールデンウィークといった大型連休には、30代など普段仕事で忙しい世代の新聞接触が高くなります。

大きなニュースの詳細を新聞で確認



傾向

- 多くの方がテレビやネットの速報でニュースを知り、翌日の新聞で詳細を確認しています。特に、過去の経緯や背景などを知りたいニュースがあったとき、接触はいつも高まります。
- 平成から令和への改元に関わるニュースがあった2019年4月1日や30日、5月1日には、「紙だから記念に保存したい」といった理由で新聞に接触する人が多くいました。
- 2018年の冬季オリンピックや衆議院選挙、参議院選挙といった大きな出来事があったときは、期間中の新聞の平均接触スコアがインターネットを上回ることがあります。
- 年末年始やゴールデンウィークなどの大型連休には、インターネットへの接触が低調になります。